栃レク・ニュースレター
栃木県レクリエーション協会広報紙　第12号　平成10年5月1日発行

県民のニーズに応えるレク協会に!!

～県レク第２次組織検討委員会最終報告～　檜山達夫

㈶日本レクリエーション協会は、21世紀を目指したレクリエーション運動のヴィジョンを発表し、その中で、４つの柱をあげています。１．生涯学習社会における「生涯スポーツの推進」　２．「芸術・文化・学習活動」への挑戦　３．自然と共生する「ネイチャーレクリエーションの推進」　４．高齢者や障害者の健康と生きがいを支える「福祉レクリエーションの推進」です。そして、これをふまえて第50回全国レク大会名古屋においてレクサミット宣言を出しました。そして、レク運動をすすめる上で、都道県レク協会、市町村レク協会を「市民に、多様で多彩、そして健やかな遊びの機会を提供できる事業体」と位置づけています。

栃木県レク協会は、これに先だち、現在のレク協の組織、体制では、県民のニーズに応える事業体にもなり得ないし、ましてや市町村レク協会の支援、連携も出来ないことから「組織検討委員会」を発足させ検討してきました。今年の３月をもって検討結果をまとめ、理事会に提案いたしました。その骨子となるものは、事務局の独立です。現在のように、行政の中にある事務局では、民間主導による、多様で多彩な事業の展開はむずかしいということです。もう一つは、機能的な組織づくりです。組織づくりの基盤は、組織を動かす人材です。現在900余名いる公認指導者の力を結集して、県レク協の力とすることです。

事務局の独立については、そう簡単に行くものとは思いませんが、ハードルをクリアーすることによって、平成12年４月（可能ならば11年４月）を目標に独立したい。そのために「事務局独立のための準備委員会」を発足させ、準備に入ります。事務局員の確保（有給常勤職員、有給非常勤事務局長）、事務局の確保（場所、スペース等）そして、それらに必要財源の確保（人件費、各種機器、器材、維持費、消耗品費等）の３つのハードルをクリアーしなければなりません。

組織については、総務（組織も含む）、事業、指導、広報の４部制（当面）とし、それぞれに２～５名の担当理事を置き、企画・運営の中枢となってもらいます。そして、その中に、公認指導者、市町村、種目団体より部員を募り、部の活動に携わってもらいます。特に、この分野での皆様の協力なくしては機能しません。

現在の県レク協会の活動を見るに、レク協として広く県民にアピールする事業は展開していません。このままでは、レクリエーションの社会的認知は得られないばかりか、レク指導者の評価も低下し、ひいてはレクリエーション運動の広がりなど期待できません。レクリエーション協会不要論までいう人もいる程です。ここ２～３年は、レク協の存在を問われる年になると思います。日レクの出した「緊急総合５ヶ年計画」にもとづいて、県レク協の「組織経営、強化中期計画」を策定しスタートします。会員の皆様の実質的な支援を期待します。

生涯スポーツコンベンション‘98に参加して

県レクリエーション協会総務部　坂本宏夫

生涯スポーツコンベンション98が、平成10年２月２日～３日に千葉の幕張メッセで開催されました。このコンベンションは、「豊かなスポーツライフの実現」をテーマに、21世紀に向けてスポーツを生活に欠かせない文化として根づかせ、国民一人一人が身近な地域において、スポーツを気軽に親しむことのできる環境づくりについての方向性を展望しようというねらいで毎年行われています。今年で第９回目を迎え、基調講演にジャーナリストの野中ともよさんが、「生涯にわたるスポーツとの上手な付き合い方」と題して、言葉の通じないスポーツの果たす役割が大きいことを体験を通して感じたことや、教育については、「みんなそろっていい子」から「みんな違ってみんないい子」へ、体育は肉体の汗のかき方だけでなく心の汗のかき方を教える必要がある。と多方面にわたって興味深い話をされました。

第４分科会の「21世紀を生きる子供のスポーツ活動」では、スポーツの中に遊びの傾向がなくなるにつれ、子供に精神的肉体的に負担を与える状況が生じがちになるという発表や食事・運動・休養の基本原則を守ることが大切。そして、スポーツの楽しさを教えること。子供たちが「自分」でという部分を保障することが大切である。とまとめられ、子供のスポーツ活動について考えさせられました。

広げようレクの輪

栃木県レクリエーション協会

「広げようレクの輪・21世紀の旅立ち」をスローガンに、県レクリエーション協会設立30周年記念大会が２月８日、宇都宮市ホテルニューイタヤで関係者約100名が集まり開催されました。

式典の席上、増山県レク協会長あいさつのあと、永年レクリエーション活動に貢献された方々に功労者の表彰が行われ、続いて県レク協会発展のために尽力された歴代事務局職員の方々に感謝状が、それぞれ贈られました。

式典後、祝賀パーティーが開かれましたが、足レクバンドの皆さんや、県レク協指導部の皆さんの協力を得て、終始熱気あふれる中で進められました。また、烏山町山あげ祭保存会踊り子部会の皆さんによる伝統芸能である「戻り橋」という演舞も披露していただき、祝宴もいやが上にも最高潮に達しました。

最後に参加者全員で、活動の輪を広げ、再会を重ねながら「生きる喜び」を旗印に頑張っていこうと誓いながら幕を閉じました。

のってるね足レクバンド！！

【感謝状贈呈者】

受賞（表彰状・感謝状）された皆さんは次の通りです。おめでとうございました。　（敬称略）

池田　　收	（理事長：昭和62年４月～平成２年３月）
荒川　伸夫(故人)	（理事長：平成２年４月～平成５年３月）
吉田　幸雄	（副会長兼理事長：平成５年４月～平成８年３月）
玉田　良雄	（事務局次長：昭和60年４月～平成７年３月）
五江　淵裕	（事務局次長：平成７年４月～平成９年３月）
井野　康資	（事務局幹事：昭和57年４月～平成元年３月）
高久　　一	（事務局幹事：平成元年４月～平成３年３月）
橋本　　浩	（事務局幹事：平成３年４月～平成６年３月）

以上８名

「関東レクサミット総会参加者募集」

関東レクサミット総会が塩原町で開催され、栃木県が主管です。多数の方の参加をお待ちしています。

- **期　日**　平成10年６月27日（土）～28日（日）
- **会　場**　ニュー憩・塩原町下塩原
- **参加費**　15,000円
- **申込先**　コーディネーター・勅使川原 典世まで
  ＴＥＬ　0283－62－0539
- **内　容**　第一日目・総会
  ・講演(日レクが考える新しい指導者像)
  ・研究討議(新しい指導者像)
  第二日目・散策と自然観察
  昼食後解散
- 募集要項は、申し込まれた方に送付します。

本県が主管ですので、皆さんのご協力をお願いします。新しくコーディネーターになられた方、是非ともご参加下さい。

ドキドキ❤　レク・インストラクター受検者

茂木町　小島　紀代子

「しいらかば～あおぞぉら～……。」歌を歌うことが大好きな私は、いつでもどこでも(!?)つい鼻歌がでてしまうのですが、ここ数ヶ月はなぜかレクシリーズが主流となり、私の頭から離れないのです。（笑）

私は、資格認定選考テストでは北国の春を踊りました。緊張して、心臓の鼓動が他の人にまで聞こえてしまうのではないかと思うほど高鳴っていました。でもテストを受けることにより、改めてレクについて深く考える機会ができたという点で、私は恵まれていたのかもしれません。テストが終わってからの指導・講評も大変勉強になりました。～レクは生きるよろこび～。

今後も、あの時のドキドキを忘れることなく、私の好きな言葉である『一生青春・一生勉強』をモットーに、レク活動を展開していきたいと思います……。

21世紀の旅立ち

設立30周年記念大会開催される

パーティーを盛りあげてくれた烏山町山あげ祭保存会踊り子部会の皆さんで～す。

力つよくあいさつする増山県レク会長

【功労者受賞者】

松本光章	(宇都宮市レクリエーション協会)
大塚忠男	(小山市レクリエーション協会)
亀山三郎	(佐野市レクリエーション協会)
津國誠	(西那須野レクリエーション協会)
勅使川原典世	(田沼町レクリエーション協会)
荒川孝一	(上三川町レクリエーション協会)
橋本美代子	(栃木県日本民踊協会)
太田進	(栃木県オリエンテーリング協会)
大嶋寛	(栃木県サイクリング協会)
亀田訓利	(栃木県学校レクリエーション研究会)
桧山紀江	(足利市レクリエーション協会)
佐藤悦夫	(鹿沼市レクリエーション協会)
時庭勝彦	(黒磯市レクリエーション協会)
舟越英治	(河内町体育協会レクリエーション部)
石村幸夫	(壬生町体育協会レクリエーション部)
安生忠男	(都賀町レクリエーションクラブ)
穐山克良	(栃木県ユースホステル協会)
大野ミチ	(栃木県ターゲットバードゴルフ協会)
山本栄	(栃木県フライングディスク協会)

以上19名

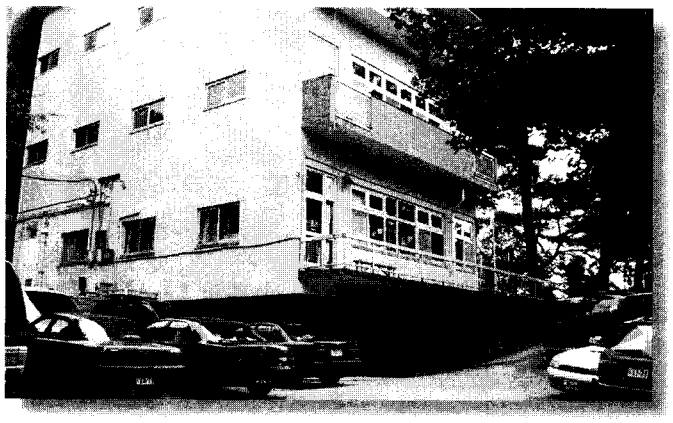
締めは檜山副理事長のギターで

施設紹介

“歴史と自然に囲まれて”
県立唐沢青年の家

唐沢山城の城内にあり自然と歴史に囲まれた、県内でも数少ない恵まれた活動環境にある青少年教育施設です。当所では青少年に限らず各年代に対応できるよう色々なプログラムを用意しています。また、静寂さと小鳥のさえずりの中での研修やつどい、大きな音を出してのブラスバンド等の合宿には最適で毎年多くのご利用をいただいております。

是非、各種団体やグループでの御利用をお待ちしております。



加盟団体紹介コーナー

NO.4

活動家を数多く世に送った鹿沼レク協会

鹿沼レクリエーション協会　　会長　渡辺秀成

わが協会の大きな特徴は、舞踏・舞踊・民謡・レクダンス・サイクリング・ターゲットバードゴルフ・レクリーダーズ等数多くのクラブ・サークルで構成されておることです。特に県レクリエーション協会に関係の深いレクリエーションリーダーズクラブは、昭和59年に当市において開催された県レク中央大会兼体力つくり県民大会の際に、市内外のレクリエーション指導者を中心に組織された比較的新しい時代に生まれたグループです。

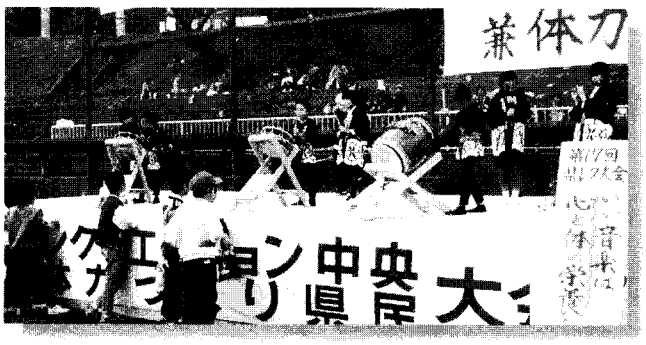
この中央大会を契機として市民ウォークラリーが活発に展開され毎回1,000名を越す盛況が続きました。開始以来10年を経た時点において、やや陰りがみえはじめたので以後市民レクリエーションフェスティバルとして、ニュースポーツを中心として定着したイベントを開催しています。

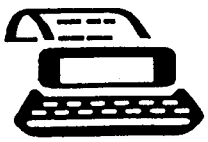
主なる行事としましては、各グループ主催事業の支援のほか、市子供連絡協議会のリーダー講習会。各地区の子供会・育成会等のレク支援活動・月一のリーダー会議等々幅広い活動を展開しています。

特筆すべきは多くの人材を育成し、世に送った事でありましょう。例えば県ユースホステル協会理事長として、又、県余暇生活開発士会長として活躍の斉藤義雄氏。宇都宮市レク協会の副会長で多くのエリアでレクの講師を務める枝　俊夫氏。少年スポーツ界で更にはダンス界でも活躍されている渡辺友彦氏。当協会副会長でレクリーダーズクラブ会長の佐藤悦夫氏。当協会監事で県ターゲット　バードゴルフ協会の事務局長、大野ミチ氏。創作ダンスの第一人者で、今市少年自然の家の野原裕氏等々枚挙に暇がありません。彼等はまさにスーパーマン的活動を展開しております。佐藤・大野両氏はこのたびの県レクリエーション協会設立30周年記念事業において功労賞をいただきました。

又、当協会は昭和62年にはレクリエーション優良団体として三笠宮殿下より表彰をいただいております。

今年度は、市政施行50周年の節目の年です。これを機会に一層の活動を展開したいと思っています。どうぞ皆様のご支援をお願いします。





栃レク・ニュースレターが講読できます

より速く、より確実に、この広報紙をあなたの手に届くように、広報部では本紙を希望者に直接お送りしています。御希望の方は、２年分の会費（郵送料）を下記あてに郵便振替えで、御送金ください。

会　費　(1,000円)　　口座名　栃木県レクリエーション協会　　口座番号　00350－2－44510

編　集　後　記

さわやかな風と共に新緑の好季節を迎えましたが皆さんお元気でしょうか？

会員の皆さんのご協力によって、県レク30周年記念行事も盛会のうちに開催することができ、本当にありがとうございました。新年度にむけて新しいスタッフでスタートします。これからも協会と会員を結ぶパイプ役として「県レクニュースレター」編集に頑張っていきたいと思いますので、各地の話題提供などのご協力よろしくお願いします。（T）

編集責任者　齋藤義雄
発行　栃木県レクリエーション協会
〒320-8501　宇都宮市塙田1-1-20
栃木県教育委員会事務局保健体育課内
☎028-623-3416
FAX 028-623-3411